



2022年5月31日発行

衆議院選挙初当選から半年



昨年の衆議院選挙で当選させていただいてから半年が経ちました。92,405人もの方々のご支持は、26年間の横浜市会議員として地道に活動したことの評価であり、「地元横浜のため、日本のために自民党・公明党連立与党の国会議員の一人としてがんばれ!」という皆様のご期待だと受け止めています。この結果に奢ることなく、26歳で横浜市会議員に初めて当選した時の初心を忘れることなく努力したいと思います。

予算分科会で初質問

国会で初めての予算質疑では2027年国際園芸博覧会や鶴ヶ峰駅連続立体交差事業について国土交通省に質問し、国の協力・支援を要請しました。2027年に開催が予定の国際園芸博覧会は、最上位の国際園芸博覧会(A1)であり、開催にあたっては「国際園芸博覧会に関する条約」に基づき、博覧会国際事務局(BIE)の認定が必要です。3月に園芸博覧法が成立し、4月には開催主体となる博覧会協会が指定されました。今後は申請が閣議決定され、11月にパリで開催予定の博覧会国際事務局(BIE)の総会

で認定取得できるよう、引き続き努力してまいります。

自民党では、「2027横浜国際園芸博覧会(花博)推進特命委員会」を設立しました。菅前総理が特別顧問に就任され、私は事務局長を務めることになりました。委員長の坂井学衆議院議員、幹事長の鈴木馨祐衆議院議員と一緒に頑張りたいと思います。

ロシアのウクライナ侵略について

ロシアによるウクライナへの侵略は断じて許すことはできません。日本は防弾チョッキやヘルメットなどの防衛装備品を自衛隊機でウクライナへ送りました。

今後も日本はNATO諸国やG7と連携しながらロシアに対する厳しい経済制裁を引き続き行い、避難民の受け入れなど、ウクライナへの人道支援をより一層進めるべきだと考えます。

ゼレンスキー大統領の演説を岸田総理と同じ衆議院の会議室で拝聴し、あらためて国会議員としての責任の重さを痛感しました。今まで以上に「ウクライナに対する支援と我が国を守るために何を成すべきか」を自問自答しています。

ウクライナは以前から持っていた核兵器を手放して平和を求めましたが、結果的にロシアに侵攻されてしまいました。

しかし、NATOに参加していないウクライナがこれだけ世界から支持を集めているのは、文字通り「命を懸けて国を守る」という、大統領や国民の姿に世界中が心を打たれたからです。女性や子供は国外に逃がす一方、18歳から60歳以下の男性は国外に出ることを禁止し、命を懸けて国のために戦う。こうした姿をNATO諸国やG7は応援しているのであって、自分の国を命懸けで守ろうとしない国を誰も助けようと思いません。



日本の安全保障

我が国はロシア・中国・北朝鮮という3つの核保有国に囲まれています。北朝鮮のミサイルは今年既に発射が13回(5月末まで)の異常なペースで発射実験を行なっています。尖閣諸島への中国海警局の出現も後を絶たない上、台湾有事も5年以内に起きるとアメリカの専門家からも指摘されています。

このような状況にある日本は、どうやって自国を守るべきなのでしょう。

言うまでもなく我が国は日米安全保障条約により、いざ有事になればアメリカ軍と自衛隊とで防衛することになります。

日本は、年内に国家安全保障戦略や防衛大綱・中期防衛整備計画を見直しますが、ロシアのウクライナ侵略を踏まえ、アメリカとしっかり連携強化するよう見直していくべきだと思います。

自民党の安全保障調査会では、4月に新たな国家安全保障戦略等の策定に向けた提言を行いました。現在日本の防衛費は「GDPの1%」を守っているため5兆3,422億円ですが、お隣の中国の防衛費は昨年だけで7.1%伸びて26兆3千億円です。中国の防衛費は日本の4倍であることを再認識する必要があります。北大西洋条約機構(NATO)は国内総生産(GDP)比2%を目標としていることから、「NATOの目標も念頭に、5年以内に防衛力を抜本的に強化するために必要な予算水準の達成を目指すことを岸田首相に提言しました。北朝鮮のミサイルは超音速であつたり変則的な動

きをするを考えると、現在のミサイル防衛システムが機能するかは不安があります。こうした状況下では、「ミサイルを撃たれる前に攻撃する反撃能力(旧:敵基地攻撃能力)」の議論も必要だと思います。

夏の参院選に向けて

コロナやロシアの侵略、エネルギーの高騰など日本も世界も難題を抱えている中で、7月には参議院議員選挙が行われます。安全保障だけでなく、コロナやコロナ後の景気対策、年金・医療など問題が山積しているからこそ、政治に安定が求められると思います。菅内閣が掲げた2050年カーボンニュートラルの実現など、安定した政権のもとでイノベーションを起こし、デジタルやグリーンで日本を再生させたい。若い世代にも夢や希望を持っていただけるように、自民党・公明党連立与党の衆議院議員の一人として、全力を尽くすことを誓います。



自民党県市会議員の仲間とウクライナ支援の募金活動

古川なおきプロフィール

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選
- ・自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任
- ・2021年4月 自民党衆議院神奈川6区支部長に就任
- ・2021年10月 衆議院議員総選挙 神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)にて当選
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- 旭区サッカー協会 顧問／旭区卓球協会 顧問
- 旭区スポーツダンス協会 顧問
- 旭区剣道連盟 顧問／旭区食品衛生協会 顧問
- ・2018年横浜マラソン完走(5時間8分)



国会見学に来ませんか?

国会は国会議事堂の中で本会議や委員会が開催されています。何度行っても建築物としての素晴らしさやみかげ石の美しさに感動します。「小学校以来国会議事堂に行ったことがない」という皆さま、ぜひ国会見学にいらっやいませんか? 86年前の日本人に想いを馳せてみてはいかがでしょうか!

数名から数十名まで、本会議場や天皇陛下の御休所、予算委員会の委員室、国会近くの自民党本部の総裁室まで、スタッフと一緒にしっかりとご案内させていただきます!

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
TEL : 045-391-4000
FAX : 045-366-9700
E-mail : jm@furukawa2002.com



ホームページ

